

[特別編]
 <食育>
 理科

➡ 3年生 | 「植物のつくりとそだち」

どこを食べているのかな

学年別・教科別に、毎回多様なご提案をいただいている「授業アイデア」。今回は、【特別編】として、<食育>を共通テーマにお送りします。

食育は、家庭科や総合的な学習の時間でのみ展開できるものと思込んでいませんか。理科、社会科など、ほかの教科でもアイデア次第で実践できます。藤本先生にその例を紹介していただきました。

1. 野菜のこの部分はどこかな？

「植物の体の名前は何でしょうか？」そう言って、これまでの学習の復習から授業を始めます。「根っこ」「そうですね」黒板に「根」と書きます。「葉っぱ」「茎」「たね」…と発表が続きます。

「これから野菜を見せます。野菜のどこの部分を食べているか考えてください」そう言いながら、まずゴボウを見せます。「根だ」「その通り」このように実物を見せながら、どこを食べているかを考えていきます。答えがわかると野菜の絵カードを貼っていきます。

2. この野菜、どこを食べている？

一段落したら、ワークシートを配ります。縦には野菜、横には部位の名前があり、一覧表に○を記入するようになっています。野菜は、ナス・カボチャ・カブ・コマツナなど、合計18種類です。

「ラッキョウって何？」「カレーについてるやつ」「ダイコンはわかるよ。漢字で書くと大根だもの」「トマトは全部食べるけどあれはどこ？」何の指示も出さなくても子ども同士で相談しています。どんな野菜かわからないときには絵カードを見せます。

「では、グループごとに野菜の絵カードを配りますから、意見がまとまったら黒板に絵カードを貼っ

てください」各グループに3枚ずつ計18枚のカードを配ります。全部のカードが揃ったところで答え合わせをします。



食べている部位はどこか相談し、黒板に貼っています。

どこを食べているのか話し合った結果。



3. 根を食べる野菜には何がある？

前半は食べている部位を分類し、収束していく作業でした。後半は食べている部位から野菜を見つける拡散的な作業です。「たねを食べている野菜は？」「トウモロコシ」「インゲンマメ」「では、葉っぱを食べているのは？」「レタス」「花を食べている野菜は？」「ブロッコリー」「ブロッコリーって花なの？」「そうです」。本当かどうかを確かめるために、水を入れた空きビンにブロッコリーを入れておきます。数日後、花が咲きます。

子どもたちの感想

- ・やさいのどこを食べているとかそんなこと考えたことありませんでした。でも食べているところがわかってすごく勉強になりました。
- ・タケノコが地面の下をはうくきだとは知りませんでした。やさいはふしぎだなあと思いました。
- ・私がいちばんおどろいたことは、ジャガイモがくきだったということです。くきがふくらんであの丸いジャガイモになるんだなあと感じました。
- ・サトイモはジャガイモとよく似ているのに、ジャガイモはくきを食べて、サトイモは根を食べる。全然ちがう場所を食べているのがびっくりでした。